

## 地域との交流について

副校長 月崎 泰照

朝晩はすっかり涼しくなり、特に昼間の日なたの温かさとの差が大きな季節です。10月中は体調を崩すお子さんも少なくなかった様子です。これからしばらくは、少しづつ冬が近付いてきます。くれぐれも御自愛ください。

さて、本校では、学園の前身、久我山盲学校の頃から、世田谷区の鳥山北小学校、鳥山中学校と交流学習を行っていました。学習の進度や障害の実態にもよりますが、準ずる教育課程の学級で月1回程度、それぞれ互いの学校へ行ったり、招いたりして、授業と一緒に受ける機会を設けていました。通常の学校で、どのくらいの人数がどのようなことをどうやって学習しているのか、を体験できる貴重な機会です。現在は、副籍制度によりそれぞれお子さんの居住地域（小中学校の学区）の学校で交流学習を行うことができますが、学校同士の交流も続けています。他に、都立三鷹中等教育学校が視覚部門中学部部活動で、聖心女子学園が視覚部門寄宿舎で、交流しています。

学校以外との関わりとしては、「久我山青光学園土づくり花育てプロジェクト」を軸としたJA東京中央との連携や久我山商店街のイベントへの参加など、折あるごとにお世話になっています。また、各区子供家庭支援センター等の行政機関との連携を強化し、地域の福祉機関との連携を推進し支援体制の強化を図っています。

本校近隣の域にお住いの多くの方々に支えていただきながら、今後も教育活動を続けてまいります。引き続き御支援の程よろしくお願ひ致します。

視覚障害教育部門 小学部1・4年 秋の遠足  
教諭 山梨 真結

9月9日（木）、小学部1・4年生は秋の遠足で井の頭自然文化園に行きました。

資料館にて、ヤマアラシのとげ、ヤマネコの毛皮、アナグマの毛皮、鶴の羽をじっくり触察させていただきました。それぞれの感触が違いを感じながら、児童も興味をもって参加することができました。

園内の自由散策では、いろんな動物を見たり、動物たちの鳴き声や音を聞いたりしながら楽しむことができました。遊具でも遊びながら、他学年、他クラスのお友達との関わりをすることができました。

お昼は、みんなで家族の方が作ってくださった、おいしいお弁当を食べ、帰りは吉祥寺駅まで歩き、電車に乗り、久我山駅から学校まで歩いて誰一人怪我もなく無事に帰ってくることができました。

子供たちは、様々な体験や友達との時間を通して、たくさんの学びや思い出をつくることができました。

知的障害教育部門 中学部3年 修学旅行  
主任教諭 長洲 信枝

10月8日（水）～10日（金）、中学部3年生の大イベント「神奈川・修学旅行」へ行ってきました。台風の影響による悪天候予報を覆し、全行程を秋の空気を感じる修学旅行となりました。はじめに帆船日本丸・横浜みなと博物館見学、そして中華街へ。円卓で食べる美味しい中華料理に大満足。その後カップヌードルミュージアムにてオリジナルカップヌードルを作りました。海が見える車窓を楽しむと大きなホテルへ。広い部屋に大感激でした。二日目は、はまぎん宇宙科学館、新江ノ島水族館。宇宙と星、海中の生き物について学びました。おしゃれなお店で食べたロコモコも美味しかったです。三日目は、一番の楽しみ！よこはまコスモワールド。各クラス、事前学習で決めていたアトラクションを目指し出発。怖かったり、寒かったり、色んな気持ちを存分に味わい楽しんできました。最後にエアキャビンに乗り横浜の街と運河パークの景色を楽しみました。ゆらゆらする空中移動が怖くて、眼下に広がる景色を見る余裕もなく、降りてほっとする人もいました。全身で神奈川を味わった三日間。忘れられない思い出が増えました。